



「第11回健康寿命をのぼそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)」厚生労働省老健局長優良賞の受賞について

呉市中央地域包括支援センターが、「第11回健康寿命をのぼそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)」厚生労働省老健局長優良賞(自治体部門)を受賞されました。

1 表彰の趣旨

厚生労働省及びスポーツ庁では、健やかで心豊かに生活できる社会の実現を目指し、生活習慣病の予防の啓発、地域包括ケアシステムの構築に向けた介護予防・高齢者生活支援及び母子の健康増進に関して優れた取組を行う企業・団体・自治体を毎年表彰しています。

介護予防・高齢者生活支援分野においては、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の実情に応じた優れた取組を行うとともに、その活動が個人の主体的な取組の喚起に資するような取組を行っている団体等を表彰し、個人の主体的な介護予防・高齢者生活支援の取組につながる活動の奨励・普及を図ることを目的としています。

2 評価された活動の内容

「身体障害の特性に配慮した通いの場の取組」

身体障害のある方から、いきいき百歳体操の参加要望があったことを契機に、視覚、聴覚、肢体などの障害の特性に応じた筋肉運動や体力測定ができるよう、地域のリハビリテーション専門職等と連携し、手話通訳による指導や下肢が不自由な方には上肢を鍛えるための運動方法を提案するなど、創意工夫を凝らした実践活動と地域の方の協力を得ながら、障害があっても住み慣れた地域で健康維持や介護予防に取り組むことができる通いの場の創出につながったことが評価されました。

3 その他

受賞者及び表彰事例は、厚生労働省ホームページに掲載される予定です。

※ 11月28日にニッショーホール(東京都港区東新橋1-1-19)で開催された表彰式で表彰されたことを報告するため、本センター管理者の宮下 勝則(みやした かつのり)さんとその関係者が、後日呉市長を表敬訪問する予定です。